

ふじのくに未来をひらく 農林漁業奨励賞 – 受賞者の取組 –

令和8年1月20日
静岡県経済産業部農業局
農業戦略課

目 次

【農業部門】

佐藤 豪芳	(さとう たけよし)	氏	【賀茂農林事務所推薦】	1
神田 豊通	(かんだ とよみち)	氏	【東部農林事務所推薦】	2
荻 真教	(おぎ まさのり)	氏	【富士農林事務所推薦】	3
西ヶ谷亮志	(にしがや ふさし)	氏	【中部農林事務所推薦】	4
富田 佳通	(とみた よしみち)	氏	【志太棟原農林事務所推薦】	5
伊藤 友秀	(いとう ともひで)	氏	【中遠農林事務所推薦】	6
倉田 聰志	(くらた さとし)	氏	【西部農林事務所推薦】	7

【林業部門】

小寺 良宗	(こでら よしむね)	氏	【東部農林事務所推薦】	8
-------	------------	---	-------------	---

さとうたけよし

佐藤 豪芳 氏 (43)

荒廃農地の再生活用と地域の活性化

- ・南伊豆町で耕作放棄地を再生活用し、柑橘栽培の作業の効率化、規模拡大を行うと共に、率先して鳥獣害対策に取り組み、周辺農家の意識を変えて地域ぐるみでの被害減少に寄与
- ・新規就農希望者を研修生として受け入れ・育成し、担い手として独立させ、共に若手生産者として地域農業の維持・活性化に貢献



神田 豊通 氏 (44)

省力的な栽培で 品質の高いイチゴ生産を実現

- ・JAふじ伊豆苺委員会において、畝を使い続けることで畝立て作業を省略する「連続畝利用技術」の導入・普及に貢献
- ・畝立ての省力化で捻出した労働時間を育苗管理に充て、良質な苗を確保することで、大幅な生産性向上を実現
- ・県いちご果実品評会で、平成27年から令和7年まで連続入賞



おぎ まさのり

荻 真教 氏 (47)

イチゴ栽培に新技術導入 産地を守る

- ・ 土耕栽培にこだわりつつ、より良い採苗方法やハウスの複合環境制御など、高品質のイチゴを収穫するため新しい技術を積極的に導入・研究している。
- ・ 静岡県農業経営士として地域農業の振興に尽力。JAふじ伊豆富士宮苺部会部長として産地の発展に貢献。



農業

(中部農林)

にしがや ふさし

西ヶ谷 亮志 氏 (45)



完熟栽培で差別化

- ・市場流通に合わせた収穫から、完熟栽培へ切り替え、「美味しさ」を追求し、差別化を図った。
- ・濃い味、濃い色をコンセプトに自社ブランド「恋蜜(こいみつ)みかん」を立ち上げた。



直売所、みかんカフェの開設

- ・「恋蜜みかん」のPR拠点として、直売所を開設、周年集客のために「みかんカフェ」を併設した。
- ・ジュースのほか、ゼリーや焼き菓子などの提供品目を増やし、売上の拡大に貢献している。



農業

(志太榛原農林)

とみた よしみち

富田 佳通 氏 (41)

需要に応じた茶生産と 多角化による経営発展

- ・ 安定した需要のあるドリンク原料茶の生産・拡大とともに、周年雇用労力の確保のため、サツマイモの生産加工と販売に取り組み、家族経営から脱却。
- ・ 有機てん茶の生産・加工に取り組み、海外の旺盛な抹茶需要への対応を進める。



農業

(中遠農林)

いとうともひで

伊藤 友秀 氏 (45)

20代で経営継承、 果樹の直売を拡大して経営発展

- ・茶から柑橘への転換を進め、周辺の遊休農地等も活用して規模拡大。梨も加えた生産・販売体制を確立。
- ・顧客の意向も踏まえて、柑橘と梨で複数の品種を導入し長期販売で経営を安定化。
- ・顔の見える直接販売とSNSによるPRを両立し、顧客との信頼関係を強化。



農業

(西部農林)

株式会社HS Farm 代表取締役

くらた さとし

倉田 聰志 氏 (42)

10年で大規模経営化を実現

- ・就農前に県外の農業法人で生産技術や経営知識を習得したことに加え、就農後は農地確保や人材育成、契約販売に取組むことで、着実な規模拡大を実現
- ・露地キャベツや施設ナス等の複合経営により経営の安定化を図る
- ・飼料生産及び堆肥活用により耕畜連携の循環型農業を実践



林業

(東部農林)

こでら よしむね

小寺 良宗 氏 (45)

林業関連の複合経営で、 持続的な経営発展を目指す

- 理事長を務めるNPO法人で林業（木材生産）と木材チップ製造の複合経営を行い、地域木材資源の需要と供給を一体的に創出
- 従来のスギ・ヒノキによる林業から、成長が早く病気や獣害に強い早生樹への転換を地域で率先して進めている



